

平成30年度

素形材技術セミナー 「製造現場における IT・IoT の活用と導入事例」

～ 製造現場等での活用技術と導入事例を紹介 ～

ご 案 内

主催 : 一般財団法人 素形材センター

わが国の素形材産業は様々な技術革新が行われており、基盤産業として著しい発展を遂げて参りました。しかしながら、従来とは異なる抜本的な変革が求められています。今日の IT・IoT 等デジタル技術が日々進化する中、各企業の生産性向上や人手不足などの対応策として、デジタル技術の活用が不可欠となっています。

このような状況のもと、鑄造業の一層の生産性と技術力向上の取組みの参考となるよう、下記プログラムによるセミナーを企画いたしました。つきましては、ご多忙中とは存じますが多数ご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

●日 時 平成31年2月12日(火) 10:00～16:50

●場 所 機械振興会館地下3階 研修1号室 東京都港区芝公園 3-5-8



●プログラム

1. 挨拶 ----- 10:00～10:10

大同大学工学部機械工学科教授 前田 安郭

2. ものづくりに関する IoT ----- 10:10～11:00

インダストリー4.0やIoTという言葉が登場し「ものづくり」が変化してきた。デジタル技術の活用は鑄造産業界においても生産性向上や品質向上のために必須事項になりつつあります。鑄造のものづくりを中心にIoTについて概説します。

甲南大学教授/学長 長坂悦敬

3. ダイカスト生産プロセスにおける計測技術と品質管理への活用 ----- 11:00～11:50

金型内部で進行する現象を把握するために、計測モニターシステムは重要な役割を担う。品質管理への活用事例を紹介するとともに、システムの活用レベルや今後変えるべき事例について解説する。

リョービ(株) 井澤龍介

4. CAE、最適化技術を用いたダイカスト方案検討 ----- 12:50～13:40

ダイカスト方案設計において、3DCAD、CAEを用いた検討は必須になっているが、さらに遺伝的アルゴリズム(GA)を組み合わせたランナー、ゲート形状最適化事例について解説する。

ヤマハ発動機(株) 小倉純一

5. 熱分析装置 ATAS MetStar を利用した鑄鉄溶湯管理とシミュレーション ----- 13:40～14:30

ヨーロッパで開発された熱分析装置 ATAS の分析原理と溶湯管理の重要性を導入事例をもとに解説する。またこの溶湯性状の熱分析結果をシミュレーションに活用するの有用性について解説する。

日本ファンドリーサービス(株) 安田敬司

6. AI(ニューラルネットワーク)を用いた溶湯管理(Mg 歩留り)について ----- 14:45～15:35

木村鑄造所の IoT 戦略の1つ溶湯行程の IoT 化について紹介する。人工知能 AI(ニューラルネットワーク Predict)を用いて、取鍋の残留 Mg を予測した実例、因子の考え方、取鍋残留 Mg が予測できた後の展開について解説する。

(株)木村鑄造所 菅野利猛

7. クラウドコンピュータを用いた大規模シミュレーションの事例、課題と展望 ----- 15:35～16:25

方案設計や欠陥対策に大規模な鑄造 CAE を活用するケースが増えつつある。本講では鑄造関連分野でのクラウドコンピューティングの実例を基に、課題と展望について解説する。

(株)アーレスティ 三中西信治

8. 総合質疑 ----- 16:25～16:50

(司会) 大同大学工学部機械工学科教授 前田 安郭

9. 閉会

●参加要領

◇定員 100名 (申込順に受け付け、定員になり次第締め切ります)

◇参加費(昼食代含む) 22,680円(税込)

素形材センター特別賛助会員、一般賛助会員は、50%割引。
 (協賛会員の方へ：協賛会員の特典にセミナー・研修の割引はありません。ご理解をお願いいたします。)
 ※開催前日まで参加取消のご連絡がなく、当日欠席されても参加費はお返しいたしません。その場合テキストはお送りいたします。

◇申込方法

下記申込書に所要事項記入の上、FAXもしくはE-mailでお申込み下さい。

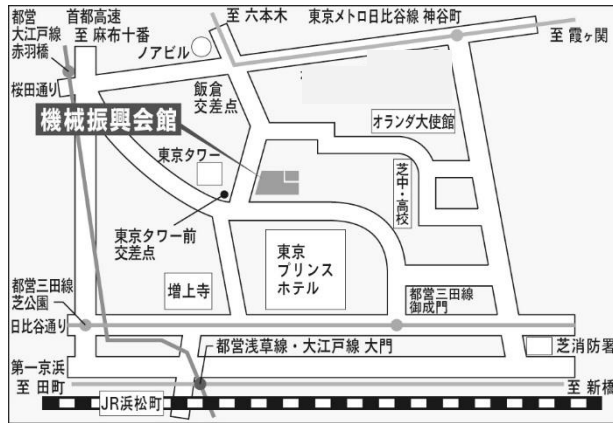
〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館3階301号室
 一般財団法人 素形材センター 企画部 電話 03(3434)3907
 ホームページ(<http://sokeizai.or.jp>)からのお申し込みもできます。

◇参加費のお支払い

参加申込後、請求書と参加証を郵送いたします。
 (領収書を必要とする場合は、申込書にその旨をご記入下さい。振込手数料は、ご負担願います。)

◇申込締切 平成31年2月5日(火)

◇会場案内図



地下鉄：東京メトロ日比谷線神谷町駅下車(徒歩8分)、都営三田線御成門駅下車(徒歩10分)、都営大江戸線赤羽橋駅下車(徒歩10分)、都営浅草線大門駅下車(徒歩15分)
JR：浜松町駅下車(徒歩17分)
バス：浜松町～東京タワー路線東京タワー前下車

個人情報保護法に関する対応

ご記入頂いた個人情報は、本セミナーの事務に利用するとともに、参加者リストを作成し、講師に手交します。
 また、素形材センターの行う各種研修、セミナー、出版物、事業の案内状の送付に利用する予定です。今後、素形材センターが行う素形材産業の実情に関する調査アンケートへの協力依頼を行う場合もあります。

(※ 会場では、一切の録音、録画をお断りします。予めご了承下さい。)

申 込 書

素形材センター企画部 (FAX03-3434-3698) (E-mail kensyu@sokeizai.or.jp)

素形材技術セミナー「製造現場におけるIT・IoTの活用と導入事例」～製造現場等での活用技術と導入事例を紹介～

会社名		
住所	〒	
電話番号		所属区分 該当に○印をつけて下さい ア. 素形材センター特別賛助会員 イ. 素形材センター一般賛助会員 ウ. 上記いずれも該当せず (素形材センター協賛会員含む)
FAX		
E-mail		
受講者氏名		
所属・役職		
備考 (連絡者や複数名申込の場合にご記入ください)		

*メールマガジン 購読希望 素形材センターメールマガジン購読をご希望の方はチェックを入れてください。
 定期的に、事業の最新情報、募集案内、イベント情報、その他、官庁関連情報、業界情報などを無料で配信しています。